

QRコードを読み取っていただくとホームページを見ることができます。小値賀小情報を様々に発信中です!



# 小値賀っ子だより

小値賀町立小値賀小学校 QR



スマートフォンからはこちら



「島から日本一楽しい学校を」 令和4年12月1日発行 第9号 校長 小川 広孝

## 相手の気持ちを考える

今日から師走に入りました。文字通り、走り回るような何かと忙しい時期になるのでしょうか。

12月7日に大雪、22日には冬至を迎えます。寒さも極まり、切羽詰ったような気分になりがちですが、学校では、気持ちは温かく、元気いっぱいの子供たちと過ごしていきたいと思っています。さて、この9号では「相手の気持ちを考える」ことについて考えてみたいと思います。

相手の気持ちを考えることは良い人間関係を築く上でとても大切なことです。だからこそ、どんな人も相手の気持ちを考えます。(当たり前のことですが)しかし、一生懸命に相手の気持ちを考えても、残念ながら全ての気持ちをわかることはできません。なぜなら、どの人も自分とは違う人間だからです。

相手の気持ちを汲み取ることは難しいことですが、相手のことを思いながら「その人が喜ぶこと」や「嬉しくなること」を想像することはできます。そして、意外に感じるかもしれませんが、相手の気持ちを考える時に大事なことは、自分の気持ちを大切にすることがとても重要になってきます。

それは、自分を満たさないと本当の意味で相手の気持ちに応えることができないからです。

昨日は、小値賀町養護部会の取組の1つである「コーチング」の授業を1年生・2年生・5年生の学級で実施しました。外部講師をお招きしての授業で、「自分のことを今よりもっと知ろう!」「じぶんとどんなはなしをしていたかな」というめあてのもと授業が展開されていきました。子供たちは一人一人、自分としっかりと向き合い、自分の気持ちを大切にできた時間となったようです。

その授業を参観しながら、「相手の気持ちを考える」ことにつながっていると感じたところです。



大島分校では11/29に実施しています。本校の3年生・4年生・6年生は後日、実施予定です。これからも、日々の教育活動を通して、相手の気持ちを考えることについて、指導・支援を続けて参ります。子供たちが安心して学び、楽しく学校生活を送ることができるよう職員一丸となって前進して参ります。今後とも、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。少し早いですが、これから年末にかけてお忙しい日々が続くと存じます。皆様、お身体にお気をつけて良き新年をお迎えください。

裏面に続きます!

## 人権週間を考える

12月4日から12月10日までは「人権週間」です。日本全国、毎年、同じ時期に人権週間があります。昭和24年（1949年）から毎年、人権デー（12月10日）を最終日とする1週間（12月4日から12月10日）を「人権週間」と定め、その期間中、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。本校でも、12月12日（月）の朝の時間に、人権学習会を全校で開催する予定です。

さて、人権とは、人のもつ権利のことです。そして、人間は完璧ではありません。自分のことが中心になりがちです。そのことが相手を傷つけ、いじめ問題につながることもあります。

ですから、私は、人権を大切にすることとは、よりよく生きて行こうと心がけて生活していくことだと思います。

そのことの難しさを分かり、学びを進めて行くところが学校です。子供たちが社会に出たときの力とするために、これからも誰とでも仲良くしよう!という目標をもって、よりよい学校生活を送ってほしいと願っています。と同時に、そのような学校生活が送れるよう、全職員で子供たちに励ましの声掛けを続けて参ります。



## 学校評価への御協力をお願いします!



学校評価につきましては、学校教育法施行規則により各学校で取り組むことが義務付けられております。

これまで「小・中学校設置基準」及び「小値賀町立小・中学校管理規則」という法に基づき学校運営や教育活動の改善・充実、教職員の資質・能力の向上を目指して取り組んで参りました。

子供たちにとってより良い学校づくりを進めるために、学校の教育活動などについて皆様から御意見をいただき、今後の学校運営や教育活動の充実のために生かして参りたいと存じます。

結果につきましては、真摯に受け止め努力を重ねて参る所存です。

後日、保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様に、学校評価についての文書を配付させていただきます。

御協力のほど、よろしくお願いいたします。